

高速道路の現場からI

今年で3年目を迎えた高速道路工事に伴う埋蔵文化財の発掘調査箇所は、緒方、安雲地区から次第に東へと移動し、現在は友枝川から東側の丘陵上に移っています。今年6月末から調査を行っている遺跡の名称は「ガサメキ遺跡」とよばれ、昭和40年代に行った遺跡の分布調査によって存在が確認されました。

調査中の丘陵上には8基の古墳が確認されており、そのうち高速道路の計画路線内にある7基が調査対象になっています。現在、古墳がみられるのは丘陵頂部から少し谷へ下った斜面部分であり、開墾され平坦になった丘陵頂部周辺には重さ1トンを超えるような大型石材がみられるので、古くはさらに多くの古墳が造られていたと推測することができます。

これまでの調査で判明しているのは次の7つです。

調査現場の様子

上毛岡土記

Vol.55



出土した祭祀土器 (死者の埋葬に伴うもの)



出土した祭祀土器 (古墳の築造に伴うもの)

この遺跡は今年12月まで調査を実施する計画です。今後、調査の進展にあわせてみなさんへ報告をします。

総合窓口課文化財保護係 末永 浩一

- ①古墳の直径は15m前後。
- ②死者を埋葬する施設は横穴式石室。
- ③石室の入口は西向き。
- ④古墳を造る際に行った祭祀跡が見つかった。
- ⑤死者を埋葬する際に行った祭祀跡が見つかった。
- ⑥築造時期は6世紀中頃以降。
- ⑦7基以上の古墳が同一範囲内にまとまって造られた群集墳である。

また死者を埋葬した石室内部まで調査が進んでいないので、どのような副葬品と共に死者が埋葬されたのか等は不明です。ただ、古墳はすべて墳丘の土が削られ、石室の天井石が取り除かれるなど盗掘を受けているので、その際に主な副葬品は盗まれていた可能性が高いと思われる。

図書館だより

げんきの杜図書館 TEL 72-1633



仕事にも生活にもこだわりを満たして生きる。それでもまだ、なにかかかっている…… 51歳女企業家・早見紅子のまえに……

『甘苦上海』(全5巻) (ガンクシャンハイ) 高樹のぶ子 日本経済新聞社



妖怪というのは、人間が意味づけすると消えていってしまうのです。頭で解釈しようとしたらたちまち掴みにくくなっていく。

『妖鬼化』(ムジャラ) 水木しげる (株)softgarage DVD付き

神社とお寺はたのしい	中尾 京子	KTC中央出版
第4の産業革命	藤原 洋	朝日新聞社
アタッチメントベビーマッサージ	廣島 大三(ひろしまだいぞう)	保健同人社
いつもの作りおきで15分でちゃんとおいしいごはん	牛尾 理恵	保健同人社
ぼくらのミステリー列車	宗田 理(そうだおさむ)	ポプラ社

環境標語入選作品

- 未来のため 地球のための エコロジー 唐原小5年 深田 歩夢
- 考えよう 明日につながる エコ活動 築上東中1年 福元 愛梨沙
- ポイ捨てを 見て見ぬふりも 同じ罪 築上東中3年 納富 貴大

※学校・学年の表記は3月時点のものです。



唐原押花教室
前列左から 久保八重子さん(中津市)、梶原慶子先生(日田市)、川原垣貞子さん(上唐原)、山下美恵子さん(東上)、石川明子さん(西友枝)

押し花入門編もあり。まずは覗いてみてください

月に一度、上唐原北区の集会所に集まって、お喋りしたり、持ち寄りの漬物でランチタイムしたり、朝から夕方まで和気あいあいとやっています。

唐原押花教室は7年前くらいからスタートしました。当初から、朝早くの鍵開け、準備、そして最後の戸締まりまで宮野タミ子さんに何から何までお世話をしていただいていたのですが、ご高齢のため引退をされて、私たちはとても残念な気持ちでいっぱいでした。しかし、今は、川原垣貞子さんがしっかりとそのバトンを受け取り、後を継いで頑張ってください。川原垣さんも85歳になられますが、まだまだ若々しくてセンスのある作品を数々生み出していますが、みなさんの目標として頼りにさせていたいただいております。

最初は押し花電報から始まった教室です。どんな作品を作るか思い描いてくる人もいれば、特に決めておかなくても先生がアドバイスをくださったたり、他のメンバーが作っている作品からヒントをもらったりして思い思いに作品づくりを行っています。完成した作品を互いに見せ合うことで刺激し合ったり、自分の作品を見て自己満足・自画自賛で気持ち良くなったり、はたまた、この次は……と気合を入れなおすこともあります。作品を見比べることは互いのやる気になっており、それが私たちに楽しくて仕方ありません。ただいまメンバーを募集しています。10人以上いたメンバーは高齢などの理由により現在5〜6人となっています。先生は東京や大阪、ヨーロッパなど幅広く活躍されている梶原慶子先生(日田市)です。



初心者の方も梶原先生が親切に指導してくださいますし、メンバー同士も押花の足りない時は気軽にあげたりしています。経費ができるだけからないように先生がアドバイスしてくれくれますので、安心して作品づくりができます。もちろん見学もOKです。少人数ですが、メンバーは中津市、友枝、唐原と広範囲に渡っていますので、ぜひ気軽に一度教室を覗いてみませんか？

●問い合わせ先 山下美恵子さん TEL 72-4354

和紙ちぎり絵



久留島良子さん(百留)



和紙ちぎり絵はその言葉のとおり、和紙をちぎってのりで貼って絵を描くものです。多彩な色合いの和紙を使ったり、いろいろなちぎり方を用いて濃淡をつけたり、表現の幅が広く楽しいです。また、職人が手間暇かけて作る和紙にふれることで、和紙の独特な温かさが感じられます。

私が和紙ちぎり絵を始めたのは、今から約25年前のこと。お勤めをしながら何か自分ができる事(文化祭に出展できるもの)はないかと悩んでいたら、姉が「これをやってみたら??」とパンフレットをくれました。そこに載っていたのは和紙ちぎり絵の通信教育の募集案内。これが私と和紙ちぎり絵の出会いです。

「和紙ちぎり絵は器用でない綺麗に作れない」と言われていたけれど、幸い子ども頃から器用だった私に和紙ちぎり絵は合っていたのかも知れません。3年間続けた通信教育とこれまでの頑張りで、和紙をちぎって表現するケバなどもずいぶん上達したのではいかと自負しています。

和紙ちぎり絵の良いところは、ハケで濡らせばすぐに剥がせることです。気の済むまで修正ができます。根気よく挑戦して、思い描いた色彩に仕上がったときが一番うれしいです。

周囲の人から「教室とかしないの?」と言われることがあります。子どもでもお年寄りでも指先を使うちぎり絵は、脳の活性化にもってこいなので、将来的には、ボランティアで活動したり、みんなと一緒に楽しみながら作品づくりをしたいと思っています。

地域横のつながりが希薄になりつつある現代社会。こうした文化サークルなどを通じて地域の人たちの繋がりができ、それが広がっていくといいなと思っています。

今後は、和紙ちぎり絵で町特産の川底柿などの農産物を描いてみたいですね。他にも似顔絵をやってみたいと思っていますので、そのときは鶴田町長さんの似顔絵に挑戦してみたいです。

皆さん一緒にちぎり絵を楽しみましょう。

●問い合わせ先 久留島良子さん TEL 24-1278